

たおやかで平和な共生社会創生プログラム 学生募集要項

一般選抜・3年次編入

2018年10月入学 追加募集

アドミッション・ポリシー

広島大学博士課程教育リーディングプログラム「たおやかで平和な共生社会創生プログラム」は、国内外の教育研究機関や企業、国際協力機関等との連携・協力の下、時間と空間の広がりによって多様に育まれた地域独自の社会と文化を深く理解し、それを踏まえて地域が抱える課題の克服のために、必

要な先端科学技術を見出だし、育むことによって、多文化共生社会を支えるリーダーを育成することを目的としています。そのため、多文化共生社会をささえるリーダーに必要な、自主性、実行力、多角的思考力、創造力を育成する5年一貫の博士課程教育プログラム「たおやかプログラム」を実施しています。

一般選抜

本プログラムでは、地域の社会・文化を深く理解し、それらをふまえて条件不利地域の問題解決のために技術を開発し、その成果を社会に実装することによって、地域に寄り添う形で多文化共生社会に貢献するグローバルリーダーの育成を目指しており、次のような学生を求めています。

1. 横断的知識と技術を身につけ、社会の発展に貢献したい人
2. 条件不利地域の文化や課題に関心があり、そうした地域の発展に貢献したいと強く願う人
3. リーダーとなって、地域・国際社会で活躍したい人
4. 意欲、行動力、責任力、人間力に優れた人

3年次編入

本プログラムは、博士課程3年次（博士課程後期1年次）から本プログラムに編入を希望する学生を対象として、プログラム編入試験を行います。

本プログラムでは、編入を希望する者として、次のような学生を求めています。

1. オンサイト・イノベーションの実践に必要な専門知識・技術を有していること
2. 博士課程3年次（博士課程後期1年次）から開始する分野横断学生チームによるオンサイト・チームプロジェクトのビジョンを有していること
3. 多文化共生に関する高度な理解と関心を有していること

たおやかで平和な共生社会創生プログラムに入学又は3年次編入させる学生を次のとおり募集します。
 ※本プログラムウェブサイト (<http://taoyaka.hiroshima-u.ac.jp/>) やパンフレット等で、本プログラムについてよく理解した上で出願してください。

1. 募集人員

コース	区分	入学時期	募集人員
文化創生コース 技術創生コース 社会実装コース	一般選抜 3年次編入	2018年10月	若干名

2. 出願資格 各選抜の出願資格は、次のとおりです。

※「11. プログラム担当者一覧」の頁を参照し、主任指導を希望する本学のプログラム担当者と、自らが希望する活動がプログラムに適しているか及び希望研究内容等について事前に相談のうえ、出願してください。

一般選抜

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 日本の大学を卒業した者
- (2) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (3) 外国の大学その他の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (4) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者であって、22歳に達したもの
- (5) 大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、本学大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの
- (6) 前各号のいずれかの資格を下記の期日までに取得見込みの者

2018年10月入学希望者：2018年9月30日

注1) 出願資格(4)又は(5)により出願しようとする者は、事前審査を行いますので「3. 出願資格事前審査」の頁を参照してください。

注2) 上記の出願資格(5)に該当する者が修得しなければならない単位数は、卒業に必要な全単位の80%以上の単位を3年次終了時までに修得し、総修得単位のうち「優」以上の単位の比率が90%以上とします。

注3) 上記の出願資格(5)の該当者として入学した場合、大学に3年以上在学し早期卒業しない者は、学部学生としての学籍上の取扱いは退学となります。したがって、各種国家試験等の受験資格で、大学の学部卒業が要件になっているものについては受験資格がなくなるため、十分注意してください。

3年次編入

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 本学において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者であって、24歳に達したもの
- (4) 前各号のいずれかの資格を下記の期日までに取得見込みの者

2018年10月入学希望者：2018年9月30日

注1) 出願資格(3)により出願しようとする者は、事前審査を行いますので「3. 出願資格事前審査」の頁を参照してください。

注2) 編入試験の結果及び既修得科目の内容により、本プログラムの2年次までの授業科目の履修を求めることがあります。

3. 出願書類

以下の出願書類を郵送または持参してください。

書類等	摘 要
志願票	(所定様式) 最終頁の所定様式をお使いください。
履歴書	(所定様式) ※所定様式は、下記ウェブサイトからダウンロードできます。 http://taoyaka.hiroshima-u.ac.jp/admissions/how-to-apply.html
小論文	
研究計画書	
推薦書	
成績証明書	※一般選抜は学部、3年次編入は出身大学の学部・博士課程前期分を提出すること。 ※証明書に学位情報が記載されていることを確認すること。
卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書	

【以下、該当者のみ提出すること】

英語検定の成績証明書	英語を母国語としない者のみ。 入学試験日から原則過去2年以内に受験した、TOEIC [®] テスト、TOEIC [®] IPテスト、TOEFL iBT [®] テスト、TOEFL [®] PBTテスト、TOEFL ITP [®] テスト又は IELTS のいずれかの成績証明書を提出すること。
日本語検定の成績証明書	日本語を学習したことがある外国人の志願者のみ。 入学試験日から原則過去2年以内に受験した、日本語能力試験、日本留学試験の「日本語」、中国とマレーシアで実施する「外国政府派遣留学生等に対する予備教育の修了試験」または実用日本語検定（J.TEST）のいずれかの成績証明書を提出すること。
オンサイト・チームプロジェクトプロポーザル	3年次編入を希望する者のみ。 (所定様式) 下記ウェブサイトからダウンロードできます http://taoyaka.hiroshima-u.ac.jp/admissions/how-to-apply.html
研究歴等概要及び研究業績目録	
修士論文又はそれに相当するものの概要	3年次編入を希望する者のみ。
GRE (Graduate Record Examinations) の成績評価証明書	GRE を受験した者は、成績評価証明書を提出してください。

4. 選抜方法・試験日程

- (1) 出願期間： 2018年6月11日（月）～2018年6月14日（木）17時（必着）
提出先：「7. 照会及び出願書類等の提出先」を参照してください。
出願書類の確認後、受験番号を電子メールにてお知らせいたします。
- (2) 第1次選抜（書類審査）及び第2次選抜（面接審査）の2段階選抜を行います。
第1次選抜（書類審査）合格発表： 2018年6月26日（火）
ウェブサイトを受験番号を掲載することにより行います。
第2次選抜（面接審査）： 2018年6月27日（水）～2018年7月2日（月）の大学の指定する日時に、
第1次選抜（書類審査）の合格者に対して面接審査を行います。試験実施の日時・場所の詳細は、
個別に連絡します。日本国外から出願する者には、インターネット電話による遠隔個別面接を実施します。
- (3) 最終合格発表： 2018年7月25日（水）10時
プログラムウェブサイトを受験番号を掲載するとともに、合格者に通知します。

5. 入学検定料の納入（30,000円）

国費外国人留学生等、検定料不徴収対象者を除く全ての出願者は入学検定料の納付が必要です。
出願者には、広島大学入学検定料振込依頼書（入金票）【本学専用様式】を郵送します。
入学志願票貼付用、志願者保管用、入学検定料振込依頼書（入金票）の太枠の中に、志願者氏名及び志願者住所を必ず記入して、指定の期日までに、都市銀行、地方銀行等の本支店の窓口で振り込んでください（ATMからは振り込めません）。なお、振込手数料は振込人負担とします。

日本国外からの出願の場合は、個別にご相談ください。連絡先は「8. 照会及び出願書類等の提出先」を参照してください。

6. 修学に要する経費

- (1) 入学料 282,000 円
- (2) 授業料（年額）535,800 円
 - ① 本学の大学院を修了見込みの者で、引き続き本プログラムの3年次に編入する者は、入学料の支払いの必要はありません。
 - ② 既入の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。
 - ③ 上記記載の金額は 2018 年 3 月現在のものです。在学中に納付金の改定が行われた場合には、改定後の納付金を納入することになります。
- (3) 入学料及び授業料免除申請を行うことができます。

7. 修学上の経済支援について

プログラムの履修をするものには、次の支援を実施します。ただし、途中でこのプログラムを離籍する者は、その時点で支援を打ち切るものとします。

- (1) 2020 年 3 月まで
 - ①奨励金の支給（月額 12～15 万円）
 - ・ 支給を申請し認められたものに支給します。
 - ・ 奨励金は所得として課税の対象となり、所得税・住民税の納付が求められます。その他、国民健康保険や国民年金への加入が求められます。
 - ・ 奨励金を受給する者には本プログラムに対する専念義務があるため、原則としてアルバイト等はできません。
 - ・ 支給額は、学業成績や履修状況等の評価により、学期毎に見直されます。
 - ・ 本学の定めるところにより、支給を減額または停止することがあります。
 - ②その他、プログラムの履修に必要となる経費について、本プログラムが定める範囲において支給します。
- (2) 2020 年 4 月以降
 - ①成績優秀者（3名）に対する奨学金の支給（月額5万円）（学業成績及び顕著な業績により、学期毎に選考する予定）
 - ②成績優秀者に対する授業料不徴収（学業成績により、学期毎に選考する予定）
 - 成績上位30%未満の学生は、1年全額不徴収
 - 成績上位30%～60%未満の学生は、半期全額不徴収
 - ③その他、プログラムの履修に必要となる経費について、本プログラムが定める範囲において支給します。

8. 照会及び出願書類等の提出先

広島大学たおやかプログラム事務室 ※受付時間：9時から17時まで（土日・祝日を除く）
〒739-8529 広島県東広島市鏡山1丁目5番1号 国際協力研究科213
Tel: 082-424-4692 E-mail: apply@taoyaka.hiroshima-u.ac.jp

9. プログラム担当者一覧

(文化創生コース)

氏名	所属（研究科・専攻等）・職名	専門
友澤 和夫	文学研究科人文学専攻・教授	人文地理学
後藤 拓也	文学研究科人文学専攻・准教授	人文地理学
熊原 康博	教育学研究科教育学習科学専攻・准教授	自然地理学
Funck, Carolin	総合科学研究科総合科学専攻・教授	観光地理学
Maharjan, Keshav Lall	国際協力研究科教育文化専攻・教授	南アジア地域研究
関 恒樹	国際協力研究科教育文化専攻・教授	文化人類学
中空 萌	国際協力研究科教育文化専攻・講師	文化人類学
中矢 礼美	国際協力研究科教育文化専攻・准教授	比較国際教育学

(技術創生コース)

氏名	所属（研究科・専攻等）・職名	専門
石井 抱	工学研究科システムサイバネティクス専攻・教授	センシング工学
辻 敏夫	工学研究科システムサイバネティクス専攻・教授	生体工学
西崎 一郎	工学研究科システムサイバネティクス専攻・教授	システム工学
餘利野 直人	工学研究科システムサイバネティクス専攻・教授	電力システム工学
高橋 勝彦	工学研究科システムサイバネティクス専攻・教授	経営工学
山本 透	工学研究科システムサイバネティクス専攻・教授	制御工学
高木 健	工学研究科システムサイバネティクス専攻・准教授	ロボット工学
造賀 芳文	工学研究科システムサイバネティクス専攻・准教授	電力システム工学
栗田 雄一	工学研究科システムサイバネティクス専攻・教授	人間工学
東 清一郎	先端物質科学研究科半導体集積科学専攻・教授	半導体工学
角屋 豊	先端物質科学研究科量子物質科学専攻・教授	光エレクトロニクス

(社会実装コース)

氏名	所属（研究科・専攻等）・職名	専門
藤原 章正	国際協力研究科開発科学専攻・教授	交通工学
金子 慎治	国際協力研究科開発科学専攻・教授	環境資源経済学
張 峻屹	国際協力研究科開発科学専攻・教授	都市・交通計画
市橋 勝	国際協力研究科開発科学専攻・教授	経済学
柿中 真	国際協力研究科開発科学専攻・教授	国際経済学
川野 徳幸	平和センター 併 国際協力研究科開発科学専攻・教授	平和学
吉田 雄一郎	国際協力研究科開発科学専攻・教授	開発マクロ経済
後藤 大策	国際協力研究科開発科学専攻・准教授	応用ミクロ経済学
力石 真	国際協力研究科開発科学専攻・准教授	都市工学
李 漢洙	国際協力研究科開発科学専攻・准教授	海岸・海洋工学
大橋 晶良	工学研究科社会基盤環境工学専攻・教授	水環境工学
河合 研至	工学研究科社会基盤環境工学専攻・教授	コンクリート工学
塚井 誠人	工学研究科社会基盤環境工学専攻・准教授	地域計画・統計解析
櫻井 里穂	国際協力研究科教育文化専攻・准教授	比較教育学・教育開発

※ 研究内容の詳細は、<http://taoyaka.hiroshima-u.ac.jp/member/academic-mentor/> を参照してください。

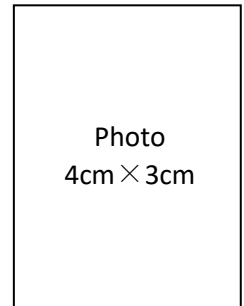
注1) 出願において、志望コースと志望指導教員の所属コースは必ず一致させてください。

注2) プログラム履修生は、主任指導教員が所属する研究科に在籍し、研究科専攻の修了要件を満たす必要があります。

注3) 3年次編入生は、プログラム履修生特別選抜試験の結果及び既修得科目の内容により、プログラムの2年次までの授業科目の履修を求めることがあります。

たおやかで平和な共生社会創生プログラム

2018年10月入学 追加募集 志願票



* 受験番号は記入しないでください

	出願区分	一般選抜 3年次編入	受験番号				
志望情報	志望コース	文化創生コース	技術創生コース	社会実装コース			
	志望指導教員氏名			内諾の有無	有 ・ 無		
志願者情報	氏名			生 年 月 日			
	カタカナ			年 月 日			
	住所	〒	性別		年齢	歳	
			電話	()	-		
			Fax	()	-		
			携帯	- -			
メール							
留学生区分 (留学生のみ)	私費	国費		国籍 (留学生のみ)			
英語検定 試験名			英語検定試験 受験年月日	年 月 日			
英語検定試験 スコア							
希望試験地 (第2次選抜)	東広島市		インターネット				

* 第2次選抜(面接審査)は、日本国外から出願する者には、インターネット電話による遠隔個別面接を実施します。